



「安心・安全・温かい」学校の推進

学校だより

X <https://x.com/ooizumitokushi>

東京都立大泉特別支援学校

学校通信 第3号

令和7年6月2日

HP

6月です

校長 中島 雄佑

一学期の保護者参観週間が終わりました。たくさんの保護者の皆様に参観いただきました。御来校、ありがとうございました。併せて、個別面談が続いています。個別指導計画の作成等の話を中心となっています。ひとつひとつの目標と手立てを確認し、お家の方の思いを伺いながら、一緒に作ってまいりたいと考えています。

さて、今回は「学校運営連絡協議会」と「防災教育推進委員会」について再確認させていただきます。

東京都教育委員会は、「学校運営連絡協議会」の設置の趣旨として「学校は、自らの教育方針や学校経営方針を明確にし、積極的に情報を発信して、保護者や地域住民等の理解を深めることが必要である。学校運営連絡協議会は、学校及び校長への支援体制を強化するため、学校運営に関して保護者や地域住民等の参画を求め、意見交換を行う場として設置するものである。」としています。具体的には、年に3回の協議会を開催し、学校経営についての説明を行い、方向性などについて意見交換を行います。そして、学校評価について、方法や質問事項の内容を確認いただき実施します。集約した結果については、分析した後、評価委員会を経て提言をいただくという流れになっています。委員については、本協議会の設置要綱に、内部委員と外部委員の選出基準を設けます。内部委員は、管理職、経営企画室長、主幹教諭などです。外部委員は、本校では、学識経験者、保護者代表、卒業生保護者代表、卒業生代表、近隣の小学校長もしくは中学校長、地域住民代表、地域福祉施設代表に委嘱するように定めています。今年度は、6月5日に第1回の協議会を開催いたします。

もう一つ「防災教育推進委員会」についてです。東日本大震災や近年の自然災害を踏まえ、防災に関する教育は、子供たちの命を守る教育として必要性が高まっています。東京都教育委員会は、全ての都立学校に「防災教育推進委員会」を設置することを義務付け、委員の皆様の様々な立場や知見から、「これからの時代に求められる都立学校における地域と連携した防災教育のあり方及び児童・生徒に自助の力と共助の精神を育む防災教育の推進にかかわる事項について検討していただく」ことを趣旨としています。具体的には、年に2回の委員会を開催し、本校の防災に関する取り組みについて実際の場面を見ていただき、アドバイスをいただいたり、備蓄品等について御意見を伺ったりします。また、実際の場面の役所や消防の対応などについて教職員に講義をいただいたり、命を守る行動について、子供たちに説明してもらったりもします。委員につきましては、区役所の区民防災課、区役所の障害者施策推進課、保護者代表2名、消防署の方、近隣小中学校の副校長、地域住民の方に委嘱しています。

時が過ぎると、本来の意義や理由の確認が不十分になったりする場合があります。委員会等も委員会を開催することが目標になってしまい、本来の目標がよそに置いておかれてしまうことがあります。そうならないように確認と見直しを繰り返していくことを地道に行っていくことが必要なのです。